

2022年2月14日

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA\_F)

## 2月14日 バレンタインデーに始動！！ 「P.S. i LOVE YOU」 PROJECT ～産業界の仲間と共に、iPS 細胞技術をあたりまえの医療に～



### ポイント

- 公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団と企業・19社 18グループが協同
- 私たち財団や企業が iPS 細胞技術への理解やあたりまえの医療にしていくための取り組みを発信し、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指す
- 特設サイトでは財団と参加企業が動画を公開し、現在の取り組みや iPS 細胞の実用化にかける思いを語る

### 参画企業 19社 18グループ一覧 (以下、アルファベット順)

当財団の iPS 細胞ストックを使用している、もしくは共同研究を行っている 19社 18グループの企業が参画しています。

- ・旭化成株式会社
- ・キヤノン株式会社
- ・キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- ・株式会社セルージュン
- ・クオリプス株式会社
- ・大日本住友製薬株式会社
- ・株式会社ヘリオス
- ・日立造船株式会社
- ・iHeart Japan 株式会社
- ・株式会社 iXgene
- ・株式会社メガカリオン
- ・オリヅルセラピューティクス株式会社
- ・株式会社レイメイ
- ・リバーセル株式会社
- ・リジエネフロ株式会社
- ・積水化学工業株式会社
- ・武田薬品工業株式会社
- ・サイアス株式会社
- ・株式会社ビジョンケア

AsahiKASEI

Canon

Canon  
CANON MEDICAL



CUORIPS

大日本住友製薬

Healios

Hitz  
Hitachi Zosen

iHeart

iXgene

Mega  
karyon

ORIZURU  
THERAPEUTICS

RAYMEI

Rege Nephro

Rebirthel

SEKISUI

Takeda

サイアス株式会社  
Thyas  
your cancer, your cell, your cure

VISION CARE

## 1. 概要

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団（主たる事業所：京都府京都市、理事長：山中 伸弥、以下「CiRA\_F」）及び上記の参画企業は、iPS 細胞技術を使った再生医療の実現を目指す私たちを応援していただける方々の輪を広げるため、2月14日（月）から「P.S. i LOVE YOU（ピー エス アイ ラブ ユー）PROJECT」を始動します。

CiRA\_F 理事長の山中伸弥が 2007 年にヒト iPS 細胞の樹立を論文で発表してから、15 年。

多くの研究者の努力により、iPS 細胞を使った新しい治療法の研究開発が進展し、実用化への道をけん引する企業も出てきています。

細胞製品の原料となる iPS 細胞ストックや iPS 細胞ストックを拡大培養したセルバンクを製造している CiRA\_F では、iPS 細胞ストック事業を非営利機関や企業との連携や情報共有を前提としたオープンイノベーション型の事業として進めることにより、知識・技術集積拠点となることを目指しています。また、iPS 細胞を使った治療が広く社会や医療に浸透することを目指し、品質、時間、コストの問題を解決する次世代 iPS 細胞の開発に取り組んでいます。

この目的を達成し、iPS 細胞を活用した再生医療を当たり前の医療とするためには、大学、私たち財団、企業の皆様が一体となって諸課題に取り組んでいく必要があると考えています。

そこで、CiRA\_F が参画企業と共に、この現状について一般の方にもご理解、関心を持っていただき、多くの人から応援していただく機運を高めることを目指して、自分たちの想いを発信していくこととなりました。

応援をよろしくお願い申し上げます。

## 2. アンケート

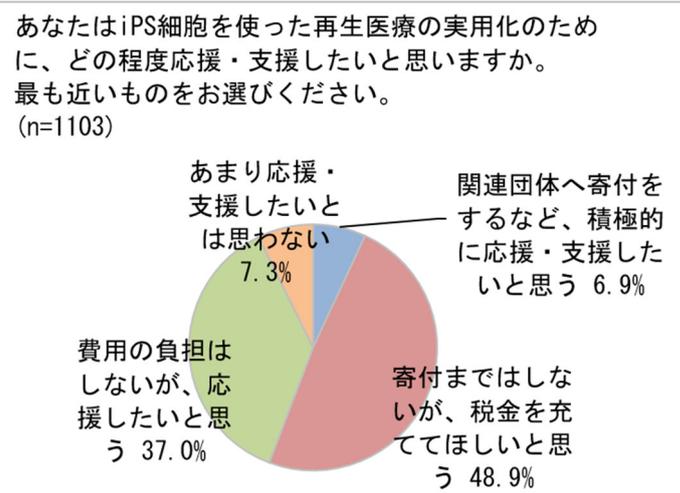
本日のイベントに先駆け、社会の皆様が iPS 細胞技術を使った医療についてどのようなお考えをもっておられるかを把握するため、アンケートを実施しました。

（詳細は <https://www.cira-foundation.or.jp/2022/02/14-140000.html#01> 参照）

### 【調査の概要】

- ・調査対象：18 歳～79 歳までの一般の方 1103 人
- ・調査方法：WEB アンケート
- ・調査時期：2022 年 1 月 20 日～24 日（5 日間）

この調査から、iPS 細胞技術を使った再生医療の進展について「今後の進展に大いに期待している・期待している」と回答した人の割合が 81.9%に上り、「どの程度応援・支援したいか」という質問にも、「関連団体へ寄付をするなど、積極的に応援・支援したいと思う」と回答した人は 6.9%、「寄付まではしないが、税金を充ててほしいと思う」と回答した人は 48.9%を占めました。特に、税金投入については厳しい目が向けられる場合もあるなかで、公的資金の支援を受けている当財団としては、勇気づけられる結果となりました。一方で、「費用の負担は少ないが、応援したいと思う」と回答した人は 37.0%、「あまり応援・支援したいとは思わない」と回答した人が 7.3%という結果になっており、より積極的に応援していただけるよう、実用化の意義や重要性など更なる情報発信が必要と思われる結果でした。



### 3. 本プロジェクトのサイト公開

特設ウェブサイトでは、当財団と19社の企業の皆様が、それぞれの想いや取り組みについて語る動画を見ることができます。

URL : <https://www.cira-foundation.or.jp/ps-i-love-you/>

#### ● 参画企業様個別ページ

企業様のご紹介ページ内で、各企業担当者の皆様が、事業にかける想いを語っています。



### 4. 大阪・関西万博 「Team EXPO2025」への登録

2025年に行われる大阪・関西万博のプロジェクトの一つである「Team EXPO2025」にも本日登録を完了しました。今後も継続的に関連イベントを実施する予定です。

### 5. 公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 理事長・山中伸弥 コメント

一つの研究成果が一般的な医療として実際に患者さんに届くには、20年、30年といった期間が必要と言われています。私がラボの仲間と共にヒトiPS細胞の樹立に成功してから15年、国からのご支援のほか、多くの研究者の努力や患者さんのご協力により、iPS細胞を使った技術で新しい治療法の開発が進んでいます。いくつかのプロジェクトでは、安全性と有効性の評価を行うまでに至っています。私は今年度末に、京都大学iPS細胞研究所の所長を退任し、iPS細胞に関する基礎研究を更に進める一方で、当財団理事長を継続し、iPS細胞の再生医療への応用に貢献していきたいと考えています。

今後、iPS細胞を使った医療の実用化に向けて、企業の皆様とともに様々な課題を乗り越えていく必要があります。iPS細胞技術をあたりまえの医療にしていくため、社会の多くの皆様に、その意義をご理解いただき、多くの皆様に応援をしていただけましたら幸いです。

#### 本件に関する代表お問い合わせ先

公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA\_F)

広報室

TEL: 080-8846-2319

Email: [contact@cira-foundation.or.jp](mailto:contact@cira-foundation.or.jp)

お手数ですがメール送信の際 \* を@に変えてください。

## 【参考資料】

### ・旭化成株式会社

旭化成グループは「マテリアル」「住宅」「ヘルスケア」の3つの領域で事業を展開している総合化学メーカーです。多面的な事業や人財の多様性を活かして今後も“昨日まで世界になかったものを”生み出していきます。

### ・キヤノン株式会社

#### ・キヤノンメディカルシステムズ株式会社

キヤノンは、イメージング、プリンティング、インダストリアル、メディカルの4分野でグローバルに事業を展開。メディカルを牽引するキヤノンメディカルシステムズは画像診断装置等を提供し世界の医療に貢献しています。

### ・株式会社セルージョン

慶應義塾大学発再生医療ベンチャーです。iPS細胞を利用した角膜内皮再生医療等製品開発を通じて、角膜移植の限界を超える技術で世界の視界を良好にすることをミッションとしています。

### ・クオリプス株式会社

2017年3月に大阪大学の技術・研究成果をベースに、同種iPS細胞由来心筋細胞シートの開発・事業化を目的に設立された大阪大学発のベンチャー企業。世界に先駆けて再生医療等製品として製造販売承認を取得することを目指します。

### ・大日本住友製薬株式会社

「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」ことを企業理念とし、精神神経領域、がん領域および再生・細胞医薬分野を研究重点領域として、革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

### ・株式会社ヘリオス

独自の遺伝子編集技術を用いて免疫拒絶のリスクを低減する次世代iPS細胞、ユニバーサルドナーセル（UDC）を作製し、がん免疫領域、眼科領域、肝疾患等において、iPS細胞技術を用いた新たな治療薬の創出に取り組んでいます。

### ・日立造船株式会社

さまざまな事業を展開していますが、創業以来培ってきた技術を活かし、今後も時代とともに移り変わる社会問題の解決に挑戦し続け、社会に役立つ価値の創造を目指します。

### ・iHeart Japan 株式会社

iPS細胞から分化させた心臓や血管の細胞を利用して、心不全を治療する再生医療等製品を開発しています。再生医療の実現によって心臓移植をしなくても患者さんを助けられる社会を作ることが目標です。

### ・株式会社 iXgene

慶應義塾大学発のスタートアップです。ゲノム編集iPS細胞をプラットフォーム技術として、様々な難治性疾患治療薬の開発を進めます。

・株式会社メガカリオン

ヒト iPS 細胞由来の血小板製剤を工業的に大量生産し、少子高齢化による献血不足が懸念される先進国や血小板製剤の不足が社会問題化している途上国の医療現場へ供給することを目指しています。

・オリヅルセラピューティクス株式会社

2021 年 4 月に設立された OZTx は、「科学の無限の力で世界により良い健康への希望をもたらす」というビジョンを掲げています。患者さんに細胞医療を届けるために、再生医療等製品および革新的な iPS 細胞関連技術の社会実装を推進します。

・株式会社レイメイ

大阪大学の西田幸二教授率いる眼科学教室が開発した iPS 細胞を用いた再生医療等に関する研究成果（SEAM 法）を事業化し、眼科疾患に関連する製品開発の実用化を目指しております。

・リバーセル株式会社

がん細胞やウイルス感染細胞を殺傷する能力を持ったキラー T 細胞を、汎用性 iPS 細胞を材料にして量産し、細胞製剤として「誰にでも」「すぐに」「低価格で」届けるための事業を推進しています。

・リジエネフロ株式会社

京都大学 iPS 細胞研究所の長船健二教授を創業者に設立された再生医療ベンチャーです。慢性腎臓病に対して世界初となる根本的治療を提供する為の開発を進めています。設立：2019 年 9 月

・積水化学工業株式会社

1947 年創業、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し続け、イノベーションの創出を通じて世界のひとびとの暮らしと地球環境の向上に貢献します。

・武田薬品工業株式会社

タケダは、常に患者さんを中心に考えるグローバルな研究開発型バイオ医薬品のリーディングカンパニーです。創業以来 240 年、揺るぎない経営の基本精神を軸に、革新的な医薬品と治療法の創出にひたむきに取り組んでいます。

・サイアス株式会社

京都大学 iPS 細胞研究所の金子新教授の研究成果を基に設立されました。iPS 細胞から免疫細胞を作製し、がんや感染症を治療する免疫細胞療法の開発を行っています。

・株式会社ビジョンケア

「すべての患者さんに、あらゆる解決策を」をビジョンとして視覚障害の課題解決を実現する企業です。iPS 細胞を用いた網膜の細胞治療のほか、遺伝子治療など、医療だけでなく、あらゆる解決策の提供を目指しています。